

尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年 10 月

(平成 30 年12 月見直し)

尾 道 市 

総合戦略策定にあたっての基本的な考え方

(1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

国においては、今後の本格的な人口減少社会と地域経済の縮小に対応するため、平成26年(2014年)11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のなかで、①人口減少と地域経済縮小の克服、②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立、という2つの基本的な考え方と、①自立性、②将来性、③地域性、④直接性、⑤結果重視という政策5原則を示しています。

また、本法では地方公共団体は、区域の実情に応じた自主的な施策を策定及び実施する責務を有し、まち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めなければならないと規定されています。

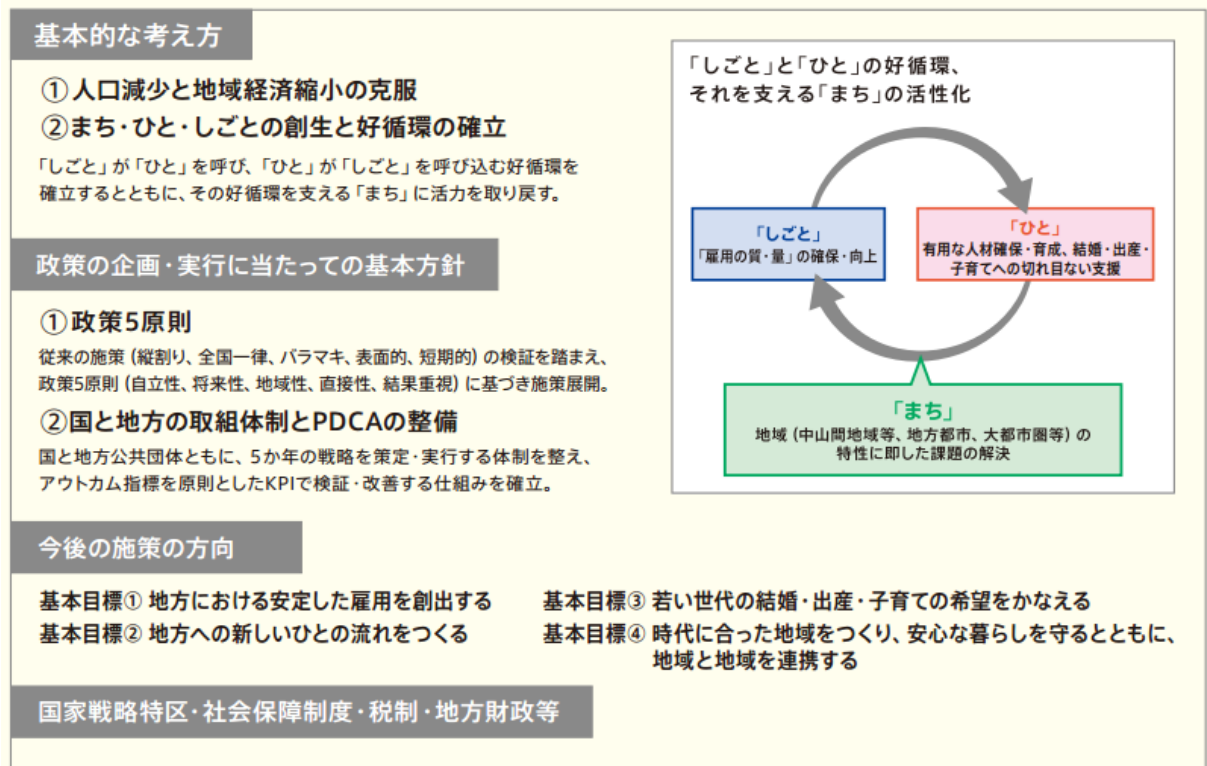
本市においても国のこうした基本的な考え方や政策5原則等を踏まえ、「人口減少と地域経済縮小の克服」、「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」を目指します。

(2) 5か年戦略の策定

総合戦略は、尾道市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンが示す人口の将来展望を踏まえ、平成27年度(2015年度)を初年度とする今後5か年の戦略として策定します。

戦略の期間 平成27年度(2015年度)～平成31年度(2019年度)

【参考：国の総合戦略の考え方】



(3) 基本目標の設定と施策の推進・検証の枠組み

国の総合戦略が示す①地方における安定した雇用を創出する、②地方への新しい人の流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する、という政策4分野ごとの基本目標を踏まえ、本市における5年後の基本目標を定めるとともに、この基本目標の実現に向け、講ずべき施策に関する基本的方向と具体的な施策を記載し、施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標（KPI）**Key Performance Indicator**）を定めます。

また、市長を本部長とする「尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定本部」を設置し、市全体としての取組という位置づけを明確にするなかで、施策の実効的な推進を図るとともに、計画期間に即した目標設定を達成するための効果的な仕組み（PDCA サイクル）を構築し、進捗を管理していきます。

(4) 戦略のフォローアップ

本市は、総合戦略に基づき、「まち・ひと・しごと創生」に早期に着手します。今後は、国や広島県の総合戦略等との整合を図りながら、近隣市町等との広域的な連携（備後圏域連携中枢都市圏、広島臨空広域都市圏、瀬戸内しまなみ海道振興協議会等）を進めるとともに、国が平成27年度（2015年度）から提供する「地域経済分析システム」を活用した分析や、平成27年度（2015年度）に実施される国勢調査の結果、さらには、引き続き実施する本市の現状分析・将来予測調査、各種意向調査等の結果を加味するなど、随時必要な見直しを行います。

また、施策の推進に当たっては、地方創生先行型交付金等の国の財政支援制度や地方創生コンシェルジュ制度などの人的支援制度を含め、国の支援制度を積極的に活用していきます。

・総合戦略策定にあたっての3つの視点

尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、「尾道市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を踏まえ次の3つを基本的な視点とします。

視点 若い世代の就労、結婚、出産、子育て環境の整備

本市の人口減少問題においては、若い世代の人口増加を図るため、こうした世代の本市における就労を後押しし、経済基盤・生活基盤を安定させる取組が重要です。その受け皿としては、「製造業」、「医療・福祉」、「卸売業、小売業」及び観光関連産業であると考えられ、地場産業の強化とともに創業支援等による新たな産業開拓も必要と思われます。

同時に、若い世代の結婚、出産の希望をかなえるための各種支援を行うとともに、安心して子育てに取り組める生活環境基盤を整備することを通じて、合計特殊出生率の上昇に繋げていく必要があります。

視点 子育て世代、若者を中心とした生産年齢人口の流入促進及び転出の抑制

合計特殊出生率を上昇させるためには、20歳代から30歳代を中心とした子育て世代、若者を中心とした生産年齢人口の流入促進及び転出の抑制が重要と考えられます。

本市における若者の転出超過は、主に就学・就職によるものが多いと考えられることから、良質な教育環境の更なる向上や、魅力ある就労環境の整備等により、若者の流入促進や転出抑制に取り組む必要があります。

さらに、特に女性の転出先として、大都市圏等よりもむしろ近隣市町への転出超過が多いという実態を踏まえると、生活環境基盤や子育て環境等をより充実させ、「住んで良かった」と思えるような魅力あふれる尾道市の実現を目指す必要があります。

本市は、健康寿命の延伸に伴い、元気に社会活動に参画し、仕事や子育てなど多方面において若者の手本や力になれる方が多くいることから、高齢者と若者が共に助け合い、豊かに暮らすことができる魅力を有しています。

このように、子育て世代を中心とした若者が本市に住み、働き、豊かな生活を送りたいという希望を叶えることを通じて、人口減少に歯止めをかけることが重要です。

視点 交流人口の拡大等による地域活性化・定住移住促進

本市は、全国でも有数の観光関連のポテンシャルを有しており、瀬戸内の十字路としての交通優位性、安全な地勢等、交流人口の拡大等を通じて地域活性化を図ることが可能と考えられます。

こうした交流人口の拡大は、本市において賑わい創出、雇用の誘発、新たな産業の創出などの経済効果をもたらし、各地域の活性化にも繋がっていくものと考えられます。

交流人口の拡大による経済効果を各地域の活性化に繋げ、住民生活の向上を図るとともに移住、定住者の増加に繋げる取組が必要です。

戦略の基本目標と具体的な施策等

(1) 戦略の基本目標

国の総合戦略並びに尾道市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンを踏まえ、基本目標を次のとおり定めます。

基本目標

地域の特徴を最大限活用した尾道ブランドをさらに強化し、安定したしごとの場を創出する。

基本目標

尾道市の魅力を活かして新たな人を呼び込む。

基本目標

安心して産み育てられる環境を整備する。

基本目標

誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組む。

(2) 国の基本目標との関係

尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略		国の総合戦略	
基本目標	地域の特徴を最大限活用した尾道ブランドをさらに強化し、安定したしごとの場を創出する。	基本目標	地方における安定した雇用を創出する。
基本目標	尾道市の魅力を活かして新たな人を呼び込む。	基本目標	地方への新しいひとの流れをつくる。
基本目標	安心して産み育てられる環境を整備する。	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
基本目標	誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組む。	基本目標	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

(3) 基本目標の実現に向けた具体的な施策等

基本目標の実現に向け、具体的な施策等を次のとおり定めます。

1 地域の特徴を最大限活用した尾道ブランドをさらに強化し、安定したしごとの場を創出する。

施策 1 創業支援、中核企業支援等の拡充

- (1) 創業支援
- (2) 中核企業支援
- (3) 若者及び女性の就職の支援

施策 2 農林水産業の成長促進

- (1) 農林水産品の高付加価値化
- (2) 生産基盤の強化
- (3) 新たな担い手の確保・育成及び新規就業者への支援

施策 3 体験型観光の推進及び宿泊需要の創出

- (1) 宿泊需要の創出

施策 4 国際観光都市づくりの推進

- (1) 国際観光都市づくりの推進
- (2) 「サイクリストの聖地」づくりの推進

施策 5 インバウンド観光及び多言語対応の推進

- (1) インバウンド観光及び多言語対応の推進
- (2) 広域観光周遊ルート及びプロモーション活動等の推進

施策 6 観光 DMO 機能を有する組織構築の推進

- (1) 観光 DMO 機能を有する組織構築の推進

施策 7 国際文化芸術創造都市の魅力を活かしたまちづくりの展開

- (1) 本市の特色ある芸術・文化を活用したまちづくりの推進
- (2) 現代アート・文化の創造

施策 8 企業誘致及び産業団地の整備

- (1) 企業誘致及び産業団地の整備

2 尾道市の魅力を活かして新たな人を呼び込む。

施策 1 移住・定住情報窓口の一元化

- (1) 移住・定住情報窓口の一元化

施策 2 空き家対策に関する総合的支援

- (1) 空家等対策計画に基づいた空き家活用策の推進

施策 3 観光を含めた都市・農村漁村交流の促進及び経済の活性化

- (1) 観光を含めた都市・農村漁村交流の促進及び経済の活性化

施策 4 若者の呼び込み及び新たなコミュニティづくりの推進

- (1) 若者の呼び込み及び新たなコミュニティづくりの推進

施策 5 新たな住宅環境の整備支援

- (1) 新たな住宅環境の整備支援

施策 6 本市の教育機関の強みを活かした人材育成の推進

- (1) 尾道市立大学等との連携による人材育成

3 安心して産み育てられる環境を整備する。

施策 1 結婚・妊娠・出産・子育てに関する総合的支援

- (1) 総合的な支援体制の構築

施策 2 育児を支えあうための交流機会の拡充

- (1) 交流機会の創出
- (2) 育児を支える人材の確保

施策 3 各種保育サービスと助成制度の拡充

- (1) 保育サービスの拡充
- (2) 保育関連の助成制度の拡充

施策 4 子育て環境の整備及びワークライフバランスの推進

- (1) 子育て環境の整備及びワークライフバランスの推進

施策 5 夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成

- (1) 確かな学力と豊かな人間性を身につけさせる教育の充実

4 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組む。

施策 1 地域防災体制の充実

- (1) 地域防災体制の充実

施策 2 各地域のまちづくり拠点の形成

- (1) 各地域のまちづくり拠点の形成
- (2) 住民の自主活動の支援及び生涯学習の充実

施策 3 地域の実情に即した新たな交通網の整備

- (1) 本市の各地区内における交通網の整備
- (2) 広域交通網の整備

施策 4 地域包括ケアシステムの充実及び健康寿命の延伸

- (1) 地域包括ケアシステムの充実
- (2) 医療提供体制の充実
- (3) 健康寿命の延伸

施策 5 公共施設等の長寿命化の推進及び生活環境の向上

- (1) 公共施設等の長寿命化の推進及び生活環境の向上

《基本目標 1》

地域の特徴を最大限活用した尾道ブランドをさらに強化し、安定したしごとの場を創出する。

数値目標

指標名	基準値（H26）	目標値（H31）
製造品出荷額等	5,697 億円（H25）	増加
創業支援者数	128 人	増加
観光消費額	249 億円	274 億円

《基本的方向》

○創業支援、中核企業支援を通じた活発な企業活動のための環境形成

本市の基幹産業である造船関連業を中核とする輸送用機械器具製造業、プラスチック製品製造業、食料品製造業などを支援することにより、地場産業の振興を図ります。また、新規創業を支援することで、空き家や空き店舗を活用した女性や若者などによる事業が次々に生まれてくる環境形成を図ります。

○戦略的な尾道ブランドの創造・発信による高付加価値型産業の創出

本市は、自然、歴史、伝統、技術、景観、食などの多彩な地域資源を有しており、日本遺産やサイクリストの聖地等の魅力を最大限に活用した「尾道ブランド」の創造に取り組み、地域資源の価値向上を図ります。本市の農産物をブランドとして認証することや新しい特産品を開発することで、観光客数の増加、特産物出荷額の拡大、高付加価値な産業の創出等に繋げていきます。

○国際観光地域づくりを基盤とした観光・農林水産・加工品販売業の一体的な産業発展

本市は、現在でも瀬戸内地域を代表する観光地ですが、今後は、主に以下①～④の取組等により、日本の観光地の中で世界から最高クラスの評価を受ける国際的な観光地域づくりを目指します。また、観光振興をはじめとする地域づくりを自律的かつ戦略的に推進する専門組織として、尾道型 DMO（Destination Management Organization）の設立を進めていきます。

- ① 日本遺産に認定された尾道のブランド力を戦略的に活用し、平安・鎌倉時代から現代にいたる歴史・文化・産業遺産が集積する「箱庭的都市 尾道」の更なる魅力向上及び観光スタイルの深化と情報発信の強化に取り組み、観光客の滞在時間の延伸、宿泊需要の創出、観光消費額の増大に繋げていきます。また、尾道港開港 850 年を迎える平成 31 年（2019 年）に向けた事業に取り組みます。
- ② サイクリストの聖地としての西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）を、ガイドをはじめとする各種サポート体制の拡充、国際的なサイクリング大会の開催等により、名実ともに世界最高クラスのサイクリングコースを目指します。
- ③ 瀬戸内エリアにおける広域観光周遊ルートの形成促進をめざす観光庁との連携、海の道プロジェクトを推進する広島県や（一社）せとうち観光推進機構（平成 28 年（2016 年）4 月設立予定）との連携、さらに、豪華客船の母港化・寄港等により、インバウンド観光の振興に取り組みます。
- ④ 本市の魅力的な農水産物を、加工・飲食業者等が高付加価値のある「食」としてつくりあげ、観光業者が本市の自然・文化・景観を活かしたおもてなしスタイルで提供することにより、観光・農林水産・加工販売業の一体的な産業発展を推進します。

○国際文化芸術創造都市の魅力を活かしたまちづくりの展開

古くから文人墨客に愛され、また優れた芸術家を輩出してきた芸術・文化的風土と、多数の歴史・文化遺産を擁する情緒豊かなまち並みのなかで、市内 6 カ所の美術館・博物館及び尾道市立大学等と連携し、市民参加型の美術展や写真展等の開催、フィルム・コミッションによる映像制作の支援、本市の自然やまち並みをキャンバスとした現代アートの創作支援等により、文化芸術の持つ創造性を活用し、市民主体による本市の特色ある芸術・文化の継承と新しい ART の創造発信に取り組んでいきます。また、ART を活かしたコミュニティづくりについても試行していきます。

○人口減少時代に対応した人材確保の推進

尾道市立大学と企業が連携して地元定着人材の育成に取り組むほか、就職活動期の学生への地元就職情報の提供等を行うとともに、女性や若者の創業を活性化することにより、創業の夢を抱いている人たちにとって本市が魅力的なまちとなるための環境整備を進めます。

○瀬戸内の十字路の立地優位性を活かした企業誘致の推進

中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）の全線開通により、本市が東西南北方向の高速道路が交差する「瀬戸内の十字路」となった立地優位性を活用し、産業団地の造成も含めた企業誘致活動を展開します。また、政府関係機関等の誘致についても国や県の動向を注視しながら、検討していきます。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

施策 1 創業支援、中核企業支援等の拡充

重要業績評価指標 KPI	基準値（H26）	目標値（H31）
創業支援者数	128人	増加
販路拡大支援による出展企業数	-	<u>15</u> 件
<u>再就職セミナー等に参加した女性のうち就職した人の割合</u>	<u>70%（H29）</u>	<u>70%</u>

（1）創業支援

若者や女性をはじめとした幅広い人たちが新たなビジネスに活発にチャレンジできるように、資金調達の支援、経営手法の指導など、創業に必要な支援を行います。

主な事業
創業支援補助事業 新規ビジネスの発掘・育成・支援事業

（2）中核企業支援

国内屈指の集積がみられる造船・船用工業、世界的競争力の高いプラスチック製品製造業、歴史と伝統のなかで培われてきた食料品製造業をはじめとする企業の経営持続と発展を促進するため、生産能力の増強及び生産基盤の拡張や、人材育成、販路拡大、情報発信等への、総合的な支援を行います。

主な事業
販路拡大支援事業 企業の魅力発信事業

（3）若者及び女性の就職の支援

若者が正規雇用労働者として働くことができる機会の確保に向けた対策を推進します。また、女性の活躍の場を確保することにより、子育て世代の経済的基盤の強化を支援するとともに、女性の感性により本市の魅力がより一層高まることを目指し、女性の再就職等を支援します。

主な事業
女性の再就職支援事業

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
6次産業化支援件数	1件	3件
<u>GAP取得数</u>	<u>1件(H29)</u>	<u>2件</u>
認定農業者数	115人	<u>126人</u>

(1) 農林水産品の高付加価値化

農林水産業者(1次産業)自らが、加工(2次産業)・販売(3次産業)事業者との連携による6次産業として取り組み、尾道ブランドを活かした農林水産品の高付加価値化や、雇用・所得の確保を図ります。

主な事業
6次産業化総合支援事業
尾道ブランド発展支援事業

(2) 生産基盤の強化

農林水産業の経営安定化と持続的発展を図るため、農業用施設整備、ほ場整備、漁港・漁場の整備や稚魚の放流など、生産基盤の強化に取り組みます。

主な事業
農業用施設維持補修事業
イノシシ等農業被害対策事業
ほ場整備事業
各種稚魚稚貝放流事業

(3) 新たな担い手の確保・育成及び新規就業者への支援

農林水産業における就業者の減少や高齢化に対応するため、農林水産業の持続的・安定的な経営の実現に向け必要な支援を行い、新規就業者の確保ができる環境整備に取り組みます。

主な事業
おのみち「農」の担い手総合支援事業

施策3 体験型観光の推進及び宿泊需要の創出

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
宿泊客数	378 千人	500 千人

(1) 宿泊需要の創出

宿泊需要を創出し、観光客一人当たりの観光消費額の増加を図るため、ドミトリー形式のゲストハウスをはじめとする宿泊施設の整備や訪日外国人観光客の宿泊利用を推進するとともに、夜間景観整備を行うなど、夜の魅力づくり等に取り組みます。

主な事業
尾道 Life Style 推進事業
宿泊施設等外国人受入対策強化事業

施策4 国際観光都市づくりの推進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
観光消費額	249 億円	274 億円
サイクリング客数	133 千人	200 千人
千光寺山ロープウェイ利用者数	332 千人	493 千人

(1) 国際観光都市づくりの推進

日本遺産に認定された尾道のブランド力を戦略的に活用し、国際観光振興を通じた地域づくりを促進するため、豪華客船の母港化・寄港等、尾道水道の賑わい創出を図るとともに、商店街等の活性化も推進します。また、地域観光の担い手の育成等、地域づくりにつながる人材の育成にも取り組みます。

主な事業
千光寺公園リニューアル事業
地域観光担い手育成事業
魅力ある観光地づくり事業

(2) 「サイクリストの聖地」づくりの推進

“サイクリストの聖地”としての西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）の魅力を国内外にアピールするため、(一社)せとうち観光推進機構とも連携しながら、「瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会」をはじめとする各種イベントを開催します。併せて、サイクリング客数等の統計調査による基礎データの獲得や、他のサイクリング地域等との交流による誘客拡大に取り組みます。

また、本市を訪れたサイクリストが、サイクリングを満喫するとともに、安全性を確保して、道に迷うことを回避し、必要に応じた援助を受けられるようにするため、コーディネーター、ガイド、サイクルセイバーの配置等、サイクリストのサポート体制を整備します。

主な事業
サイクリング支援事業
サイクリング客数統計調査事業

施策5 インバウンド観光及び多言語対応の推進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
外国人観光客数	132 千人	<u>380 千人</u>
外国人レンタサイクル利用者数	3,606 人	<u>13,600 人</u>
Hiroshima Free Wi-Fi アクセス数		500 千人

(1) インバウンド観光及び多言語対応の推進

海外におけるプロモーション活動等を行い、インバウンド観光のより一層の振興を図ります。訪日外国人観光客による本市での滞在時間の延伸及び経済波及エリアの拡大を図るために、外国人に対する観光案内所の機能強化や多言語対応の推進に取り組みます。

主な事業
インバウンド対策事業
レンタサイクルシステム外国人対応事業
多言語情報提供等環境整備事業

(2) 広域観光周遊ルート及びプロモーション活動等の推進

西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）や日本遺産に認定された本市の特色を活用し、観光庁の広域観光周遊ルート形成促進事業により広域連携体制を強化するとともに、一体的なプロモーション活動と交通アクセスの充実を図ることにより、国内外からの観光客の誘客を推進します。

主な事業
日本遺産魅力発信推進事業
空港リムジンバス運行事業

施策6 観光 DMO 機能を有する組織構築の推進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
総観光客数	6,412 千人	6,840 千人
<u>レンタサイクル貸出数</u>	<u>78,857 台 (H28)</u>	<u>89,000 台</u>
ガイド及びコーディネーター受講者数		<u>400 人</u>

(1) 観光 DMO 機能を有する組織構築の推進

観光振興をはじめとする地域づくりを自律的かつ戦略的に推進するため、その専門的組織として、尾道型 DMO (Destination Management Organization) の設立を進めていきます。尾道型 DMO では、地元の観光資源の発掘と事業化、複数の観光資源を組み合わせた観光プログラムづくり、市内外に向けた情報発信等を行う必要があると考えています。

主な事業
観光拠点魅力創造事業
地域観光担い手育成事業〔再掲〕

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
出展件数 (絵のまち尾道四季展)	757 点	920 点 (H30)
市立美術館入館者数	26 千人	増加
交流人口		50 千人 (H29)

(1) 本市の特色ある芸術・文化を活用したまちづくりの促進

本市の長い歴史の中で引き継がれ培われてきた芸術・文化にふれ親しみ、未来に伝えるとともに、本市が豊かな感性に彩られたまちになることを目指し、「高校生絵のまち尾道四季展開催事業」等を開催します。

主な事業
高校生絵のまち尾道四季展開催事業
絵のまち尾道四季展開催事業
市内美術館連携強化事業

(2) 現代アート・文化の創造

本市が将来にわたって新しい芸術・文化を創造して国内外に発信する拠点であり続けるため、豊かな自然や歴史・文化に彩られたまち並みを舞台とした現代アートの創作活動を支援するとともに、「映画のまち」としてフィルム・コミッション事業等を推進していきます。

主な事業
現代アートの創造発信事業
フィルム・コミッション事業
有名建築家や若手建築家等による建築群の創造事業

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
産業団地進出企業数		増加
企業誘致件数		増加

(1) 企業誘致及び産業団地の整備

中国横断自動車道尾道松江線 (中国やまなみ街道) の全線開通により本市が「瀬戸内の十字路」としての地理的優位性等を活用し、産業振興の取組をより一層拡充するため、民間遊休地等の活用を図りながら企業誘致を推進するとともに、経済情勢の変動リスク等も考慮しながら産業団地の整備も進めていきます。

主な事業
産業団地整備等企業立地促進事業

《基本目標 2》

尾道市の魅力を活かして新たな人を呼び込む。

数値目標

指標名	基準値（H26）	目標値（H31）
転出超過数	396人（H22～H26平均）	減少

〈基本的方向〉

○移住・定住・空き家対策に関する総合的支援体制の構築

移住・定住に関するワンストップの相談窓口を設置するだけでなく、市内全域の空き家情報の収集及び活用を行います。空き家等を活用したまちづくりも含めて、総合的に支援する体制を構築することにより、移住・定住に繋げていきます。

○観光や創業支援等を起点とした若者や女性を中心とする移住・定住者の呼び込み

観光地としての本市の知名度を活かし、都市・農村漁村体験交流により、将来的には移住・定住に繋げていくほか、商店街や尾道三山の斜面地等の空き家や空き店舗での創業を支援することにより女性や若者を誘致します。このような価値観、年齢、ライフスタイルが似通った人たちが、同じ地区に移住・定住してコミュニティを形成することへの支援についても検討します。また、多くの移住・定住者を受け入れるため、住宅団地の整備に向けた事業も推進するとともに、大都市圏から地方への高齢者の移住促進についても、国の動向を注視しながら、検討していきます。

○本市の強みを活かした人材育成

地元企業が求める人材を育成し、地元での就職を促進するため、芸術・デザイン・IT・経営等の研究活動を展開し、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に取り組む尾道市立大学が企業と連携し、人材育成事業の拡充に努めます。その他、U・I・Jターンの促進に取り組みます。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

施策1 移住・定住情報窓口の一元化

重要業績評価指標 KPI	基準値（H26）	目標値（H31）
若い世代（20～39歳）の移住相談数	101件	150件
空き家バンクエリア	市内中心部	拡大

（1）移住・定住情報窓口の一元化

移住・定住関連の情報収集や支援を一元化するため、情報共有化を目的とした移住ポータルサイトを設置します。また、空き家バンクを活用した移住・定住者や観光客の来訪を本市全域に拡大させるため、空き家バンクの対象エリアを市内全域に拡大します。

主な事業
尾道移住ポータルサイト設置事業
空き家バンクエリア拡大事業

施策2 空き家対策に関する総合的支援

重要業績評価指標 KPI	基準値（H26）	目標値（H31）
空き家バンク成約数	9戸	15戸
空き家調査件数		約8,500戸（H27）

（1）空家等対策計画に基づいた空き家活用策の推進

空き家等に関する施策を統合的・計画的に実施するため、空家等対策計画を策定します。

空き家の活用策を地域の視点からとらえ、魅力的なまちづくりに繋げていくため、空き家、移住・定住、まちづくりのテーマに一元的に取り組む仕組みづくりや地域の特色を考慮した空き家の活用策及び空き家解体後の跡地利用等を検討し、空家等対策計画での主要な事業として位置づけます。

主な事業
尾道市空家等実態調査事業
空き家再生・活用事業
まちなみ再生事業

施策3

観光を含めた都市・農村漁村交流の促進及び経済の活性化

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
都市・農村漁村体験交流事業参加者数	232 人	350 人

(1) 観光を含めた都市・農村漁村交流の促進及び経済の活性化

都市・農村漁村交流の促進を通じて、観光振興のみならず、本市の地域資源を活用した農業・漁業・自然・食に関する交流や体験プログラムを検討するとともに、宿泊体験を通して地域の人々との交流を深め、移住・定住を促進し地域振興を図ります。

主な事業
都市・農村漁村体験交流事業

施策4

若者の呼び込み及び新たなコミュニティづくりの推進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
20～49歳の人口定着率	31%	31%

(1) 若者の呼び込み及び新たなコミュニティづくりの推進

移住・定住地としての本市の魅力づくりと、移住・定住の検討段階から居住開始後までの一貫した支援体制を整備し、移住・定住者数の増加を図ります。また、企業合同説明会の開催や、企業・求人情報、その他就職関連情報を提供することにより、円滑な就職の実現を図ります。

主な事業
政策形成事業
地域活動実践者育成事業(地域おこし協力隊事業)
ふる里就職促進事業

施策5

新たな住宅環境の整備支援

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
民間事業者への情報提供数		50 件

(1) 新たな住宅環境の整備支援

若い世代の人口増加を図るためには、生活基盤を整備し、住宅事情による近隣他市町への転出を減少させる取組が必要です。そのため、民間企業による住宅整備の促進・支援に努め、将来的には官民連携による住宅団地の整備に繋げていきます。

主な事業
住宅団地整備に係る支援事業

施策6

本市の教育機関の強みを活かした人材育成の推進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
尾道市立大学の市内インターンシップ参加学生数	35 人	増加

(1) 尾道市立大学等との連携による人材育成

本市の企業が要望する人材を育成し、地元への就職を促進するため、芸術、デザイン、経済・経営、IT等の研究成果や人材を有し、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に取り組む尾道市立大学が企業と連携し、今後の人材育成の方向性の検討や、実践的なプロジェクトの中で人材を育成・活用する取組を拡大します。

具体的な事業
地元学生定着促進事業

《基本目標 3》

安心して産み育てられる環境を整備する。

数値目標

指標名	基準値 (H26)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.53 (H20 ~ H24)	1.62 (H30 ~ H34)

《基本的方向》

○結婚・妊娠・出産・子育てに関する総合的支援体制の構築

若者の就労支援や出会いの場づくりを通して、結婚の希望の実現を促進します。また、妊娠期から子育て期にいたるまでワンストップで支援する子育て世代包括支援センターを整備するとともに、地域子育て支援センターを市内各地域に配置することにより、安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。

○育児を支え合うための交流機会の拡充

ファミリー・サポート・センター事業の拡充や乳幼児ふれあい体験事業の創設等、子育て世代が支え合い交流する機会を拡大し、楽しみながら子育てができるまちづくりを推進することで、第2子・第3子の出産に繋げていきます。

○各種保育サービスと助成制度の拡充

従来の保育サービスを拡充するとともに、財政計画との整合性を図りながら、乳幼児等医療費の助成対象を拡充することにより、子育てに要する経済的負担を軽減し、働きながら子育てができる環境を整備して、出産や子育てがしやすいまちづくりを推進します。

○子育て環境の整備

放課後児童クラブの開設時間延長、放課後子ども教室の拡充等、子育てサービスを充実することにより、保育所等での保育サービス以外にも、多様な子育て支援体制を整備していきます。また、就学前から小中学校の義務教育へ滑らかな接続を図る「尾道15年教育」の充実に向けた「夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子ども育成」を柱とする「尾道教育みらいプラン」の推進により、質の高い教育を提供し、「尾道市で子育てをしたい」と感じてもらえるまちづくりを推進します。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

施策1 結婚・妊娠・出産・子育てに関する総合的支援

重要業績評価指標 KPI	基準値（H26）	目標値（H31）
婚姻件数	566 件（H25）	増加
子育て支援センター延べ利用者数	26 千人	35 千人
不妊治療助成後の出産件数		30 人

（1）総合的な支援体制の構築

合計特殊出生率の向上を図るため、少子化対策を検討するためのプロジェクトチームを立ち上げるとともに、子育て支援センターの整備と機能拡充に取り組む等、結婚・出産・妊娠・子育てに関する総合的な支援体制を整備します。また、少子化の原因とされている若者の未婚率の上昇、晩婚化・晩産化の状況を改善するため、結婚に向けた出会いの場づくり、不妊治療等の支援、乳児期の訪問・相談や健康診査等、切れ目のない支援を提供します。

主な事業
少子化対策緊急事業
地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）
子育て世代包括支援センター整備事業
不妊治療助成事業

施策2 育児を支えあうための交流機会の拡充

重要業績評価指標 KPI	基準値（H26）	目標値（H31）
子育て人材バンク登録件数		100 件

（1）交流機会の創出

育児の負担を緩和し、子育てを楽しむことができる環境を創出することにより、第2子や第3子の出産を促進するとともに、子育て世代が交流する機会の拡大に取り組みます。

主な事業
乳幼児ふれあい体験事業
ファミリー・サポート・センター事業

（2）育児を支える人材の確保

子育ての負担を軽減するため、子育て世代の人たちだけでなく、子育て世代以外の人も含めて、地域住民がボランティア等として子育てに協力する仕組みづくりを推進します。

主な事業
子育て人材バンク事業
訪問保育サポーター養成事業

施策3 各種保育サービスと助成制度の拡充

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
休日保育施設数	1 施設	2 施設
0 歳児童受入人数増加施設数	2 施設	7 施設 (H27)
子どものインフルエンザ予防接種率		50%

(1) 保育サービスの拡充

子育てをしている人たちが、仕事との両立を図ることができるよう、各種保育サービスを拡充し、市内の幅広い地域で利用しやすい環境を整備します。

主な事業
家庭保育園保育創出事業
休日保育実施事業

(2) 保育関連の助成制度の拡充

乳幼児等医療費やインフルエンザ予防接種等の助成を拡充し、子育てに要する費用の負担を緩和します。

主な事業
乳幼児等医療費助成拡充事業
子どものインフルエンザ予防接種助成事業

施策4 子育て環境の整備及びワークライフバランスの推進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
放課後児童クラブ利用定員数	920 人	1,480 人
放課後こども教室延べ参加児童数	35 千人	36 千人 (H28)
地域教育ボランティア登録数	528 人	<u>738</u> 人

(1) 子育て環境の整備及びワークライフバランスの推進

就学前及び就学後の子どもを育てている世代が、仕事を通じて生きがいを感じながら、子育てに必要な収入を確保できるようにするとともに、子どもたちが地域の人たちと交流する中で成長していく環境を整備するため、放課後児童クラブや放課後こども教室等の事業を展開します。また、子どもを事故や犯罪の被害から守るため、地域で子どもを見守る体制づくりを促進します。

主な事業
放課後児童クラブ拡充事業
放課後こども教室推進事業
教育ボランティア等の育成事業

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
「住んでいる地域が好き」と感じる 小中学生の割合	86.0% (小学生) 79.0% (中学生)	増加
「夢や目標がある」と感じる 小中学生の割合	90.9% (小学生) 78.2% (中学生)	増加
「学校は楽しい」と感じる 小中学生の割合	79.0% (小学生) 85.2% (中学生)	増加

(1) 確かな学力と豊かな人間性を身につけさせる教育の充実

子どもたちに確かな学力と豊かな人間性を身につけさせるため、就学前教育の充実を目指す「尾道つくしプラン」と、夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子ども育成を柱とした「尾道教育みらいプラン」の推進により、「尾道15年教育」の充実を図ります。

主な事業
学力向上対策事業
外国語教育を充実する事業
ふるさと学習推進事業
体力向上対策事業

《基本目標 4》

誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組む。

数値目標

指標名	基準値（H26）	目標値（H31）
地域の防災対策が進んでいると 感じる市民の割合	21.2%	増加
住んでいる地域の中心市街地（まちなか） が賑わっていると 感じる市民の割合	18.6%	増加
健康寿命	男性 77.54 歳（H22） 女性 82.07 歳（H22）	延伸

《基本的方向》

○地域防災体制の充実

地域防災力を強化するため、住民の防災意識の向上を図り、住民が自主的に連携して防災活動に取り組む自主防災組織の結成と活動を支援します。そして、消防署、消防団器具庫の整備及び消防団員数の充足により消防力の充実・強化を図ります。また、防災拠点としての市庁舎の機能を確保するため、本庁舎と支所の建替えを推進します。

○各地域におけるまちづくり拠点の形成

市内各地域の拠点において賑わいや活力の維持・向上を図るためにまちづくり拠点としての「小さな拠点」を整備し、併せて、住民の自発的なサークル活動やボランティア活動を支援することにより、住民活動等のソフト面も含めた地域全体の活力の維持・向上を図ります。

○地域の実情と広域交通インフラ整備の進展に対応した交通網の整備

以下の観点から交通網の整備を検討・推進します。

- ① 市内の各地域において、買い物や通院等の日常生活での移動手段を確保するため、マイクロバスの運行を継続します。また、中山間地域や島しょ部の実情に対応した地域交通の有り方を検討します。
- ② 中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）の全線開通、日本遺産や広域観光周遊ルート認定等に対応し、観光客の来訪や市民の移動に利用しやすい環境を整備するため、広島空港と本市を結ぶリムジンバスの運行により広域交通の促進を行います。

○地域包括ケアシステムの充実及び健康寿命の延伸

医師・看護師・保健師・介護職員・薬剤師等の専門職や地域の人で高齢者を支える仕組みづくりを進め、高齢化率は高いが、そのことを強みとして、団塊の世代が75歳以上（後期高齢者）となる“2025年問題”に対応できるまちづくりを推進します。そして、地域包括ケアシステムの充実に努めます。

また、質の高い地域医療の提供体制を充実させるため、市の公立病院の充実、医師確保のための奨学金制度の継続、救急医療体制の強化等を推進します。中核病院、診療所、介護施設、調剤薬局の間で患者の情報を共有化し、緊急時に迅速かつ的確に対応する等の取組も、引き続き支援します。また、運動・栄養・口腔ケア等を通じた介護予防事業の推進により、健康寿命の延伸にも取り組み、QOL（Quality of Life 生活の質）の向上の促進や医療・介護費用の適正化も推進します。

○公共施設等の長寿命化の推進及び生活環境の向上

高度経済成長期以降に整備された都市インフラや公共施設等が、今後、維持補修・更新期を迎えることから、適切なメンテナンスサイクルのもとでの点検・診断・修繕等を実施し、維持管理コストの縮減・平準化を図ります。また、今後の利活用の可能性や収支バランスを勘案したうえで、民間活力の活用も視野に入れながら、今後の方向性を判断します。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

施策 1 地域防災体制の充実

重要業績評価指標 KPI	基準値（H26）	目標値（H31）
自主防災組織の組織率	51.3%	76.0%
消防団員数	1,625 人	1,716 人
地域の防災対策が進んでいると感じる市民の割合	21.2%	増加

（1）地域防災体制の充実

地域防災力の強化を図るため、自主防災組織の結成、防災センターの活用、消防団への入団促進等によって、防災意識の向上を図ります。また、防災拠点としての市庁舎の整備や、消防署及び消防団器具庫の整備によって消防力の充実・強化を図ります。

主な事業
自主防災組織育成事業
防災センター活用推進事業
消防団への入団促進事業

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
道の駅クロスロードみつぎ来訪者数	309 千人	408 千人
瀬戸田地区観光消費額	17.5 億円	18.6 億円
公民館自主サークル活動支援団体数	768 団体	820 団体

(1) 各地域のまちづくり拠点の形成

中山間地域や島しょ部において生活や事業活動に必要な機能を確保し、将来にわたって活力を持続できる環境の整備を図るため、コミュニティの強化や再構築を促進する小さな拠点づくりに繋がる事業を展開していきます。

主な事業
未来創造支援事業（御調地区、瀬戸田地区）
中心市街地活性化事業（御調地区）
エコアイランド百島振興事業

(2) 住民の自主活動の支援及び生涯学習の充実

地域のコミュニティの活力の基盤を強化するため、住民の自発的な活動を支援します。また、健康づくりや生きがいづくり等の特色ある事業を行う「おのみち幸齢プロジェクト」等、本市ならではの生涯学習を推進します。

主な事業
公民館等での自主サークル活動支援事業
おのみち幸齢プロジェクトの推進

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
公共交通機関を利用しやすいと感じる人の割合	38.6%	増加
<u>路線バス等の利用圏の人口割合</u>	<u>84% (H28)</u>	<u>H34年度87%達成に向けて取り組む</u>

(1) 本市の各地区内における交通網の整備

本市の各地区内において、買い物や通院等の日常生活での移動手段を確保し、住みやすい地域づくりを推進するため、マイクロバス等の運行を支援するほか、観光客が本市内のより多くの観光地を訪れることができるよう、本市内の回遊のための利便性を確保するために、地域交通の有り方を検討します。

主な事業
ノンステップバス導入事業

(2) 広域交通網の整備

中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）の全線開通、日本遺産や広域観光周遊ルートの認定等に対応し、中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）の活性化を図るとともに、国内外の観光客や市民が移動に利用しやすい環境を整備するため、広島空港と本市を結ぶリムジンバスの運行を整備します。

主な事業
空港リムジンバス運行事業〔再掲〕
尾道松江線活性化事業

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
市立病院の医師数	65 名	増加
がん検診受診率	39%	50%
健康寿命	男性 77.54 歳 (H22) 女性 82.07 歳 (H22)	延伸

(1) 地域包括ケアシステムの充実

公立病院や医師会を中心に、保健・医療・介護・福祉・生活が連携した「地域包括ケアシステム」が構築され、特に医療と介護の連携は、先進的な取組として全国の注目を集めています。

今後も、これまでの取組を踏まえつつ、団塊の世代が 75 歳以上となる“2025 年問題”を見据えて、日常生活圏域ごとの地域特性に応じた地域包括ケアシステムの更なる充実を推進します。

主な事業
ふれあいサロン事業
シルバーリハビリ体操事業
おのみち見守りネットワーク事業

(2) 医療提供体制の充実

質の高い地域医療の提供体制を充実させるため、尾道市立市民病院及び公立みつぎ総合病院の充実、医師確保のための奨学金制度の継続、救急医療体制の充実等を推進します。また、中核病院、診療所、介護施設、調剤薬局の間で患者の情報を共有化し、緊急時に迅速かつ的確に対応するとともに、重複する検査や投薬を防止する本市医師会等の取組（尾道地域医療連携推進特区の選定事業）も、引き続き支援します。

主な事業
救急医療体制充実事業
医師確保事業
市立病院機能強化事業（医師不足の解消）
市内外の医療機関のネットワーク構築

(3) 健康寿命の延伸

住民が質の高い生活を長く享受できるまちづくりを進めるとともに、医療・介護関連の財政負担を軽減することを目的として、運動・栄養・口腔ケア等を通じた介護予防事業の推進により健康寿命の延伸に取り組みます。

主な事業
歯周疾患検診拡充事業
特定健診がん検診事業

重要業績評価指標 KPI	基準値 (H26)	目標値 (H31)
小中学校耐震化率	83.7%	100%
橋梁長寿命化修繕によるコスト縮減額	3 千万円	12 千万円

(1) 公共施設等の長寿命化の推進及び生活環境の向上

高度経済成長期以降に整備された都市インフラ等の老朽化に対応し、維持・修繕コストを縮減・平準化するため、適切なメンテナンスサイクルを構築し、計画的に点検、診断、修繕、更新、情報の記録と活用等を実施し、それらを適切に実施していくため、公共施設等総合管理計画を策定していきます。

また、観光や医療をはじめとする幅広い分野において、事業の高付加価値化やイノベーションの創出を図るため、光回線エリアの拡大等による情報通信基盤の拡充を進めるとともに、本市の豊かな自然や美しい景観、歴史に育まれた文化遺産等のかげがえのない地域資源を未来に残していくため、環境保全や環境学習の取組を推進し、生活環境の向上を図ります。

主な事業
橋梁長寿命化修繕事業
小学校大規模改造事業 (小学校施設耐震改修事業)
中学校大規模改造事業 (中学校施設耐震改修事業)
都市公園施設改修事業
環境学習推進事業